

授業の概要

部分床義歯技工学の基礎知識に基づき、支台装置である鑄造鉤を製作し、作業用模型、鑄造鉤の製作順序と製作方法を身につける。

- 教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 部分床義歯技工学(医歯薬出版)
- 参考資料：配付プリント
- 授業時間：火曜日 18:50～21:15
- オフィスアワー：木内 浩子 (kiuchi.hiroko@nihon-u.ac.jp) 火曜日 16:00～17:00
- 成績評価：実習製作物(100%)で評価する。
- 注意事項：教科書、配付プリントおよび実習に必要な用具を持参する。
- 授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。
- 準備学習：必要な時間(1時間程度)を充てて予習を行うこと。
- 準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。
- 実務経験：木内浩子：歯科技工所で基礎を学び、歯科診療所で主任歯科技工士を務めた後に独立。それらの臨床経験を基に歯科技工士の立場から、本実習が実際の補綴装置を製作する時に、どのように活かせるかを講義していく。

授業日・担当者	実習項目	学習到達目標
第1回10月1日 木内 浩子 高橋 泰清 深谷 佳乃	講義 1. 部分床義歯の製作順序 2. 部分床義歯の構成要素 1) 支台装置 (1) クラスプ (2) レスト (教) pp. 111-147 実習 作業用模型製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部分床義歯の製作順序を説明できる。 ・ 部分床義歯の構成要素を列挙できる。 ・ 支台装置の種類や機能について説明できる。 ・ クラスプの各部位の名称、機能、分類、および種類について説明できる。 ・ レストの目的および種類について説明できる。 ・ 作業用模型を製作するためシリコン印象に硬質石膏の注入を行う。 ・ シリコン印象の取り扱いを修得する。
第2回10月8日 木内 浩子 他	講義 6. 鑄造鉤の製作 1) 部分床義歯の設計 2) サベイング 3) 義歯床の設計(義歯床の記入) 4) 支台装置の設計(鉤外形線の記入) 5) ブロックアウト 6) リリーフ 7) 耐火模型の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習で製作する鑄造鉤の製作工程について解釈できる。 ・ 歯科医師が行った部分床義歯の設計を解釈できる。 ・ サベイングを解釈できる。 ・ 義歯床の設計を解釈できる。 ・ 支台装置の設計を解釈できる。 ・ ブロックアウトを解釈できる。 ・ リリーフを解釈できる。 ・ 耐火模型の製作法を解釈できる。 ・ 鑄造鉤ワックス形成を解釈できる。

	8) 鑄造鉤ワックス形成 9) 埋没および鑄造 10) 熱処理および研磨 (教) pp. 173-186 実習 上顎作業用模型咬合器 装着	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑄造鉤ワックス形成の埋没および鑄造を解釈できる。 ・ 熱処理および研磨を解釈できる。 ・ 咬合平面版を用いて、上顎作業用模型を咬合器に装着する方法を修得する。
第3回10月15日 木内 浩子 他	講義 7. サベイヤーの構造と 使用方法 1) 使用目的 2) 構造 3) 種類 4) サベイング 実習 6. 鑄造鉤の製作 1) 作業用模型の製作 (1) 上下顎作業用模型 の咬合器装着 (2) 研磨用模型の製作 (教) pp. 173-181	<ul style="list-style-type: none"> ・ サベイヤーの使用目的と構造を説明できる。 ・ サベイヤーの種類を列挙できる。 ・ サベイングを解釈できる。 ・ 鑄造鉤ワックスアップ練習用模型を製作できる。 ・ 作業用模型を製作できる。 ・ 上下顎作業用模型を咬合器に装着する方法を修得する。 ・ 調整・研磨用の模型を製作する。
第4回10月29日 木内 浩子 他	講義 8. 支台装置(環状鉤) の設計(鉤外形線の記入) 1) レスト付き二腕(エーカースクランプ) 2) バックアクション クラasp (教) pp. 124-126 実習 6. 鑄造鉤の製作 1) サベイング 2) 義歯床の記入 3) 鉤外形線の記入 (教) pp. 176-179	<ul style="list-style-type: none"> ・ レスト付き二腕鉤(エーカースクランプ)の形態と、鉤外形線の記入を修得する。 ・ バックアクションクラaspの形態と、鉤外形線の記入を修得する。 ・ 作業用模型でサベイングを行い部分床義歯の着脱方向の決定、等高点(トライポッド)の描記、サベイラインの描記および鉤尖部の位置を決定できる。 ・ サベイヤーを使用できる。
第5回11月5日 木内 浩子 他	講義 9. ブロックアウト 10. リリーフ 11. 耐火模型の製作法 実習 6. 鑄造鉤の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロックアウトを説明できる。 ・ リリーフを説明できる。 ・ 耐火模型の製作法を説明できる。 ・ サベイヤーを使用し、ブロックアウトとリリーフを行う。 ・ 耐火模型製作のために作業用模型の複印

	4)ブロックアウト 5)リリース 6)耐火模型の製作 (1)印象採得 (教)pp. 180-181	象を行う。
第6回11月12日 木内 浩子 他	実習 6. 鑄造鉤の製作 6)耐火模型の製作 (1)印象採得 (2)耐火模型材の注入 (教)pp. 180-181	<ul style="list-style-type: none"> 作業用模型の複印象採得ができる。 耐火模型を製作できる。
第7回11月19日 木内 浩子 他	講義 12. 耐火模型の表面処理 方法 実習 6. 鑄造鉤の製作 6)耐火模型の製作 (3)表面処理の方法 (教)pp. 180-181	<ul style="list-style-type: none"> 表面処理の目的と方法を説明できる。 耐火模型の表面処理方法であるワックスバス法ができる。 表面処理の終了した耐火模型に支台装置の設計ができる。
第8回11月26日 木内 浩子 他	講義 6. 鑄造鉤の製作 7)鑄造鉤ワックスアップ 実習 (1)上顎右側第一小臼歯のワックスアップ (教)pp. 181-183	<ul style="list-style-type: none"> 鑄造鉤のワックス形成法を説明できる。 上顎右側第一小臼歯にレスト付き 二腕鉤(エーカースクラスプ)のワックスアップを行い、使用した材料やインスツルメントの使用法および鑄造鉤のワックス形成法を修得する。
第9回12月3日 木内 浩子 他	講義 6. 鑄造鉤の製作 8)埋没および鑄造 (1)埋没の前準備 (2)スプルー線の植立 (3)埋没 (4)鑄造 実習 6. 鑄造鉤の製作 7)鑄造鉤ワックスアップ (2)上顎右側第二大臼歯のワックスアップ (教)pp. 181-183	<ul style="list-style-type: none"> 埋没の前準備として耐火模型の分割を説明できる。 各鑄造鉤のスプルー線植立の方法を説明できる。 耐火模型の埋没法を説明できる。 鑄造方法を説明できる。 上顎右側第二大臼歯にレスト付き 二腕鉤(エーカースクラスプ)のワックスアップを行い、使用した材料やインスツルメントの使用法および鑄造鉤のワックス形成法を修得する。

<p>第10回12月10日 木内 浩子 他</p>	<p>実習 6. 鑄造鉤の製作 7)鑄造鉤ワックスアップ (3)バックアクション クラスプのワック スアップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 上顎左側第一小臼歯においてバックアクションクラスプのワックスアップを行い、ワックス形成法を修得する。 • バックアクションクラスプは既製のワックスパターンを使用したワックス形成法を修得する。
<p>第11回 12月17日 木内 浩子 他</p>	<p>実習 6. 鑄造鉤の製作 8)埋没および鑄造 (1)埋没の前準備 (2)スプルー線の植立 (3)埋没 (教)pp. 182-183</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ワックス形成の終了した耐火模型の埋没を行い、埋没法を修得する。 • 埋没の前準備として、埋没を容易に行うため耐火模型を3分割する。 • スプルー線植立時の注意点を修得する。 • 耐火模型材の埋没作業を修得する。
<p>第12回12月24日 木内 浩子 他</p>	<p>実習 6. 鑄造鉤の製作 9)埋没および鑄造 ④鑄造 (教)pp. 182-183</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 遠心鑄造器による鑄造を行い、鑄造に関する作業を修得する。 • 鑄造体を自然放冷後に取り出す事を学ぶ。
<p>第13回 1月14日 木内 浩子 他</p>	<p>講義 6. 鑄造鉤の製作 10)機械研磨 (1)粗研磨 (2)中研磨 (3)仕上げ研磨 実習 6. 鑄造鉤の製作 10)研磨 (1)粗研磨 (教)pp. 184-185</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 研磨の目的と方法を説明できる。 • 機械研磨の粗研磨、中研磨、仕上げ研磨を説明できる。 • 機械研磨の粗研磨を行い、作業を通して切削用具(ポイント類)の選択およびその使用方法を修得する。
<p>第14回 1月21日 木内 浩子 他</p>	<p>実習 6. 鑄造鉤の製作 10)研磨 (1)粗研磨 (2)中研磨 (3)仕上げ研磨 (教)pp. 184-185</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 機械研磨の粗研磨、中研磨、仕上げ研磨を行い、作業を通して切削用具(ポイント類)の選択およびその使用方法を修得する。
<p>第15回 1月28日 木内 浩子 他</p>	<p>実習 6. 鑄造鉤の製作 10)研磨 (3)仕上げ研磨 11)鑄造鉤の完成・評価 12)製作物の提出 (教)pp. 184-185</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 機械研磨の仕上げ研磨を行い、作業を通して切削用具(ポイント類)の選択およびその使用方法を修得する。 • 製作した鑄造鉤を作業用模型に適合させ提出する。

